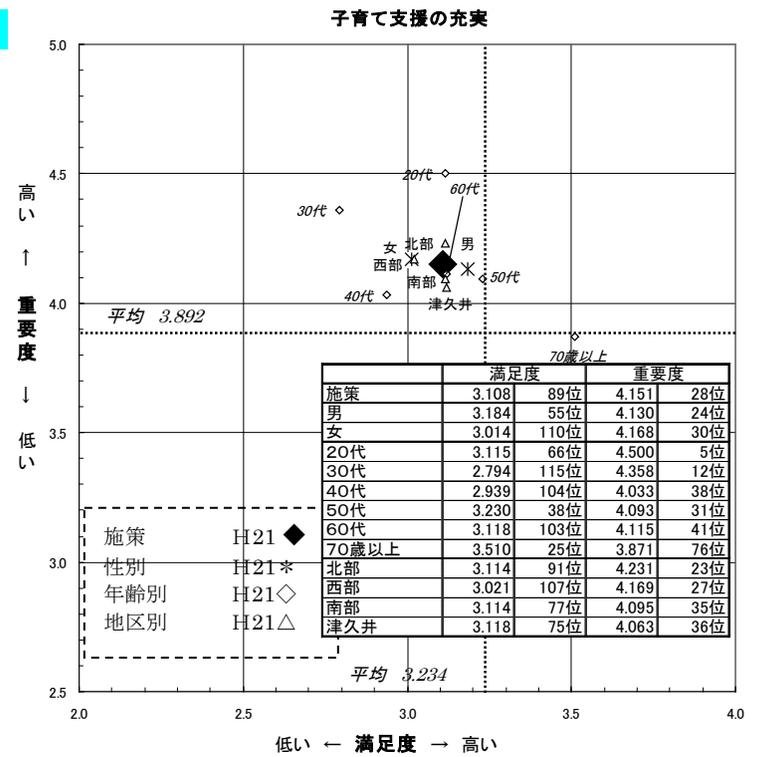


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.108で全119施策の中で89番目。
- 重要度は4.151で28番目である。
- 改善要望度は0.272で20番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4(2)1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	4(2)1	
合計				評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	待機児童の解消に向け取り組む中で、新たな児童クラブ室の確保及び指導員等の人材の確保が難しい状況である。また、それに伴う整備費や人件費といった経費も増大している状況である。
解決策	これまでの施策を継承しながら、児童館やこどもセンター、児童クラブといった本市の児童厚生施設の機能が重なり合う部分の見直しを行い、児童にとっての視点を盛り込みながら、効果的な運営をめざしていく。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

放課後子ども教室の実施に際しては、利用者に何かしらの金銭的負担を求めるべきである。また、重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことも課題であるため、原因を分析し、満足度を向上させるよう、積極的に構成事務事業を見直されたい。	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向